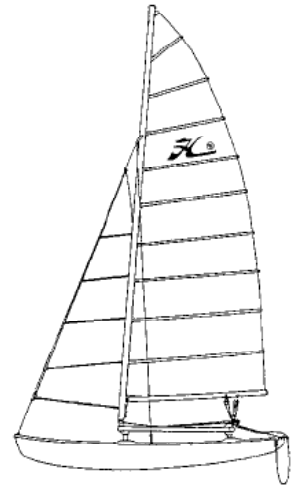


Sailing Guide Hobie Cat 16



By Hobie Cat 16 World Champion Gavin Colby

1. はじめに

HobieCat16は、喜びや楽しさ、ファンタジーを感じさせてくれます。

水辺のセーリングはもちろん、レースの喜びも忘れられません。

本書には艇をセットアップする方法を書きましたが、本書がバイブルというわけではありません。

あなたのセーリング・スタイルに応じてぴったりのチューニングを見つけてください。

本書には私が見つけた小さな秘密を書いてあります。

セーリング中に私たちが出会った時に、これらの秘密について話すことができることを楽しみにしています。



2. オン・ザ・ビーチ

艇を水上に浮かべる前からHobieCat16を速くするための準備は始まっています。

できるかぎり艇を速くすることで、より簡単にコースを周り、ミスを少なくすることにつながります。

良いセールを手に入れることで、艇は速くなり、あなたは自信を増していくでしょう！

3. ハル

ハルはきれいに保ち、傷をつけないようにします。

ハルに傷があると艇は劇的に減速します。年に数回の研磨をお勧めします。

艇をビーチまで乗り上げたり、引きずったりは決してしないでください。

ハルを傷をつけ、艇の底に深い溝を残します。

ビーチホイールを購入するか借りて、艇の底を良好な状態に保つようにしてください。

もし艇を売る時も、艇の評価が変わってきます。

4. ラダー

ハルと同様にラダーもきれいに保ち、傷が無いようにしなければなりません。

出艇前はラダーを引き上げておいてください。

ラダー自体は壊れにくいものですが、欠けたり破損することがあります。

1200番の耐水サンドペーパーを使って、年に1～2回ラダーを研磨すると表面が滑らかになり、傷が無くなります。

5. トランポリン

HobieCat16は、剛性が高くないため、調整によって得られる剛性が有効になります。

剛性が高いほど艇は速くなります。

できるだけトランポリンを強く張ることによって、船体の剛性を補助し、艇をより速くします。

トランポリンを張るとき、ハト目金具を破損しないように注意してください。

人それぞれ違った方法で緊張していますが、私は昔ながらの手袋と手を使うのが一番良い方法だと思っています。

トラピーズ時にサイドバーにかかる応力を減らす効果もあります。

6. マスト

私はクルーの合計体重が約135kgになるように努めています。

クルーの合計体重に応じて、マストを立てる時のサイド・ステー・アジャスターの穴の位置は下記に示すようにセットします。

これにより最小限のマストレーキを設定し、セーリング中にジブ・ハリヤードを引くことでマストレーキを追加することができます。

サイド・ステーを正しい穴にセットすることが非常に重要です。そうしないと艇の動力が過大になったり、不足したりします。

クルーの合計体重	125kg未満	：	1 番下の穴
”	125-134kg	：	2 番目の穴
”	135-144kg	：	3 番目の穴
”	145kg以上	：	4 番目の穴

7. バテン

それほど神経質になる必要はないと思います。

セールのシワを取り除くことは重要だと思いますが、私自身はいくつかのバテンにテンションをかけることを忘れて慌てた経験があります。

しかし、実際にはパフォーマンスに目立った違いはありませんでした。

パフォーマンスの違いの大部分は、セールを気にして見上げることが原因でした。それでは艇を速くすることは到底できません！

セールのシワを伸ばし、軽くテンションを加えてバテンの反りを助けてください。

ただし、トップのバテンにはもう少し強いテンションが必要です。短かくて曲げるのが難しいためです。

8. ジブ・セール

ジブ・セールは、できるだけ低くセットし、リーチとフットにテンションをかけると、より効率的なリグになります。

私はジブ・セールを特に低くセットします。フロントのクロスバーは湾曲しており、ジブ・セールをフォア・スティ・アジャスターで低くセットすることで、ジブ・セールをマストから引き離すことができます。

私はフォア・スティ・アジャスターの2番目の穴にジブ・タックをピン止めしていますが、艇やクルーの微妙な違いにより、変わってくるかもしれません。

いずれにしても、ジブ・セールはできるだけ低く保つようにしてください。

ジブ・ハリヤードのシートを引っ張ってセールを上げた時、ジブ・ブロックとフロント・クロスバーの間が引っ張られる場合は、フォア・スティ・アジャスターでジブ・タックの取り付け位置を下にしてください。

ジブ・クルー・ボードにジブ・ブロックを取り付ける位置は、私の場合、常に下から2番目か3番目の穴にしています。

9. ジブ・ハリヤードのテンション

リギングする時は、まずリグが堅固になるまでジブ・ハリヤードを引っ張ります。

私はいつもタイトなリグでセーリングしています。セールの調整を行った後、シートの結び目やワイヤーの伸縮を可能にするためにリグテンションを引きます。

ジブ・ハリヤードを最適な設定にすることは非常に重要です。

決まった値が無いため、この設定を身につけるには経験しかありません。他の人と戦って、最も速い設定を見つけてください。

水上で調整する場合、艇を停止させ、ハリヤードの位置を先ず2.5cm（1インチ）だけ変更します。2.5cm単位で調整していくと、ある時点で変化を感じます。次によりぴった

りとなる位置を求めて少しずつ調整します。

オーバー・パワーになっている時は、メインシートを引いてもブロック同士を引き寄せることはできません。艇を風上に向けて傾けずに保つのが困難な場合、またはマストが高く見えて遅いと感じる場合は、ジブ・ハリヤードを緩めます。

逆にアンダー・パワーの時は、メインシートを引くと非常に簡単にブロック同士がくっつき合ってしまいます。水の抵抗を感じたり、トラピーズが困難な場合、またはマストの高さが無いように見える場合は、ジブ・ハリヤードを引きます。

一度の調整は2.5cmずつ行うことを忘れずに！

10. トラピーズの高さ

あなたのハーネスの種類によって大きく異なりますが、基本は可能な限り低くすることです。

世界選手権の最終レースは、私の人生で最高のトラピーズでした！

クルーの吊り下げフックは、原則としてサイドバーの約10cm下の位置とします。

スキッパーは少し高い位置。サイドバー上面と同じ高さにしてクルーの上に視界を確保します。

11. メイン・セールのラフのテンション

メイン・セールのテンションは何度も調整するものではありません。

私はレース中に調整することはありません。私がカニンガムを緩めるのは風が非常に強い場合だけです。

グースネック底部の位置は、風速5～20ノットの場合、グースネックの底部はマストの黒い帯ステッカーの6cm上。風速20ノット以上の場合、その距離を半分程度にします。

12. ラダーの調整

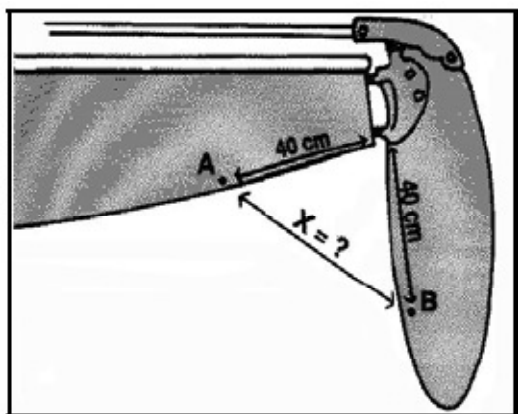
私の場合、普段メジャー等を持ち歩かないので、艇の後部を見下ろして確認するだけです。その際、艇の先端とラダーが真っ直ぐになるようにして確認してください。

私がセーリングする時は、片側のラダーは持ち上げた状態にしているので、完全に位置合わせされていなくても、それほど違いは生じません。

微妙な違いを確認する場合は、次の方法を使用しています。

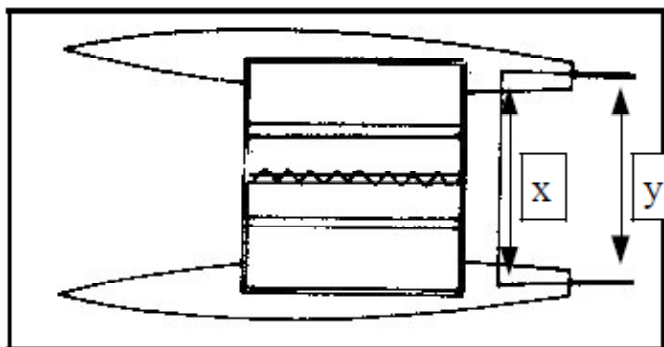
ラダー・ブレードの中間点（40cm）とスターンからも同じ距離点に鉛筆で印を付けて確認します。（図－1）

両方のティラー接続部とラダー・ブレード先端の距離を測定し、ラダー・ブレードの先端の方を約5mm広く調整します。（図－2）



【図－１】

- ・ ラダー角度を確認してください。
- ・ スターンから40cmのところをA点とし、ラダー・キャスティングの底部から40cmのところをB点とします。
- ・ A点とB点の距離(x)が両方のラダーで同じ長さであることを確認します。



【図－２】

- ・ ティラー接続部の間隔を(x)、ラダー・ブレードの先端の間隔を(y)
- ・ (y)は(x)よりも5mm長くします。

1 3. その他

不要なシートや長くてカットして余ったシート持っていると便利です。

1 4. 水上での確認

レース開始前には、必ず風上と風下へ帆走してみてください。

両方のタックで5分間帆走して速度をテストし、すべてが大丈夫であることを確認することが非常に重要です。私は次のチェックを行います。

トランポリン : 可能な限り緊張し、リグが堅固であること

トラピーズの高さ : 波高に応じて、可能な限り低いポジションが取れること

カニンガム : 正しい位置まで引き下ろされていること

15. 帆走（風上）

1) ダブル・トラピーズのコンディション

前述のジブ・ハリヤードのチューニングを忘れずに行ってください。

コンディションに合わせてジブ・ハリヤードを調整する必要がありますが、帆走中はセールの張り出し量の設定で調整します。

理想的には、メイン・トラベラーが、中心点（風が弱い状況）とフット・ストラップ（強いブローがある状況）の間で移動するようにします。

風上に帆走する時は、メインシートを常にブロックにロックしてください。これが「ダブル・トラピーズ・アップウィンド・レンジ」です。

ジブカーにジブシートをしっかりと取り付けてください。

風が落ちた時にジブシートを緩め過ぎるのを注意してください。ジブ・セールは意外と大きいため、マストに触れるとスロットを閉じてしまいます。

サイドバーに立ちます。

後ろ側の足はサイドバーの後端から約15cmの位置です。クルーとの間はできるだけ詰めます。

風が上がるにつれてサイドバーの後端側へ移動します。時に大きな波を乗り越える場合は、ハルに両足または後側の足を置きます。

2) トラピーズができないコンディション

軽い風でトラピーズができない時は、ステアリングとトリミングだけの操作です。

軽い風では多様なセットアップ方法が用いられますが、真っ先にトラピーズできたチームのセットアップがベストだったということになります。

より軽い風では、メインシートをロックしません。

メイン・トラベラーを中心位置から15cm程度ずらし、トリミングとステアリングに集中するとともに、オーバーシートにならないように注意を払います。

中程度の風では、ジブシートはゆるやかに伸びた状態にします。

これによって、スロットが開いたままになり、セールには若干のねじりが生じます。

風が無い時は、クルーは艇の反対側タックに座ります。艇が少しでもヒールしたら、すぐにクルーとスキッパーは同じタックに座ります。

セールの下から周辺を見渡せるように、クルーはできるだけ体勢を低くすることが重要であり、無駄に動き回らず、すべての動きをスムーズに行います。

艇上でジャンプするだけでも艇速は落ちます。

艇の前方を向いて、サイドバー前方に座り、クルーとスキッパーの間は詰めてください。

16. 帆走（風下）

完全な風下への帆走にならないようにしてください。

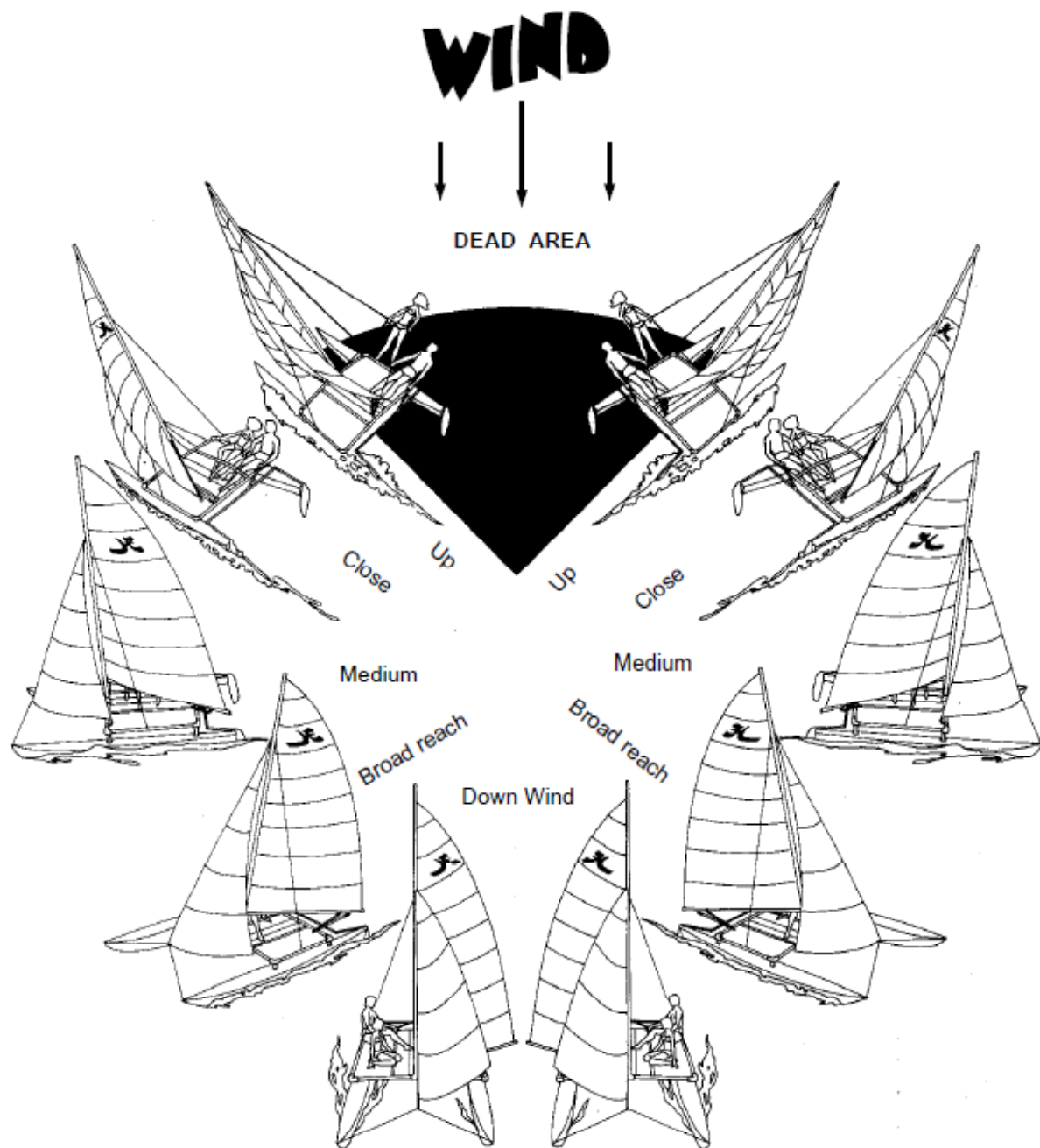
バウの潜水を防ぐには、風速が増すにつれて体重を後方へ移動してください。

セールの下から周辺を見渡せるように、クルーはできるだけ体勢を低くします。

風を利用して、風下方向の広い範囲でセーリングが可能です。

メインとジブの両トラベラーは、完全に風下側へ出して、セールをトリムしてください。

そして、良いスタートを切り、艇をベストな方向に向けることが重要です！



訳：HOBIE CAT新潟フリート